

期間 26年 10月30日(木)～27年 1月15日(木) [全10回]

応募締切

26年 10月16日(木)

実施場所 九州国際大学地域連携センター(サテライト・キャンパス)  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (38ページ地図参照)

申込・問合せ先 九州国際大学地域連携センター 担当：今井・片山  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 TEL：631-2203 FAX：631-2204

時間 18:00～20:00

定員 30名

受講料 8,000円

### コース概要

実施機関：九州国際大学地域連携センター

10年前のアジアでは、日本の経済規模が他国・地域を圧倒していました。2番手の中国は日本の3分の1にすぎず、他国はもっと小規模でした。

しかし、今や中国は日本よりもはるかに大きくなり、10年後に日本の3倍に達するとの予測すらあります。20数年先には中国だけでなく、インド、東南アジア諸国連合(ASEAN)も日本より大きくなっている可能性があります。

世界の経済発展の中心であるアジア各国・地域の経済について、市民の皆さんにとって身近な存在である九州・山口企業との結びつきから説き起こし、その強みと泣き所を解説します。

われわれ九州・山口がこれから「アジアと共存する」ことの重みを一緒に考えていきませんか。

月 日	テーマ・内容	担当講師
10月30日 (木)	<b>ガイダンス アジアと九州——ここまで進んだ相互依存</b> いつの間にか、アジアは日本、特に九州にとって切っても切れない死活的に重要な貿易相手になっています。米国よりもアジアとの輸出入で九州は“食べている”のです。データと地図で解説します。	九州国際大学 特任教授 江本 伸哉
11月6日 (木)	<b>つじり茶屋と台湾</b> 小倉の抹茶カフェ「つじり茶屋」が台湾に出店し、成功しています。安価とは言えない「抹茶パフェ」が売れる台湾とは？砂糖キビ、バナナの国がハイテク工業国に変身した理由を解き明かします。	
11月13日 (木)	<b>味千ラーメンと中国</b> 熊本の人なら誰でも知っている「味千ラーメン」。実はアジア各国、特に中国でのチェーン展開が最大の収益源です。その背景には中国人の生活水準の急速な向上があります。その秘密を解説します。	
11月20日 (木)	<b>TOTOと中国</b> 北九州企業の雄、TOTOの収益源はもはや日本ではなく、中国です。中国政府迎賓館「釣魚台」への納品を突破口に最高級ブランドの地位を確立しましたが、その戦略は曲がり角を迎えています。	
11月27日 (木)	<b>安川電機と中国</b> 地場大手の安川電機が虎の子の産業用ロボットを中国で造り始めました。「ブーメラン」懸念の中、中国に出た背景には深刻な人手不足があります。「未富先老」が心配な中国経済のアキレス腱とは？	
12月4日 (木)	<b>新日鉄住金とインド</b> 新日鉄住金八幡製鉄所には多くのインド人が訪れます。同国鉄鋼大手のタタ製鉄の技術者です。新日鉄住金はインドに自動車用鋼板の工場を立ち上げます。中国以上の経済成長が見込めるからです。	
12月11日 (木)	<b>ユニクロとバングラデシュ</b> 山口発祥、今も山口に本社を置くユニクロは「China Plus One」戦略としてバングラデシュでの縫製を急増させています。世界的な最貧国がいま「世界の縫製工場」に躍り出た背景を解説します。	
12月18日 (木)	<b>タカギとベトナム</b> 浄水器・散水器大手のタカギは巨大市場の中国に目もくれず、ベトナムに初の海外工場を建設、小倉の工場と研修させた現地人技術者を幹部に登用しています。ベトナム経済の光と影を考えます。	
1月8日 (木)	<b>九州電力とインドネシア</b> 九電はスマトラ島で地熱発電所を建設し、同国国営電力会社に販売します。日本の電力会社が海外で地熱発電を手がけるのは初めて。その戦略と背景にあるインドネシアの経済成長の秘密を探ります。	
1月15日 (木)	<b>日産九州と韓国</b> 日産九州は韓国から高品質、低価格の自動車部品を積極的に輸入し、世界市場で最激戦の小型車の国内生産を守る砦として奮闘しています。部品調達の短納期化に関釜フェリーが活躍する訳は？	